

## 令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・具体物やICTを活用した授業を展開したことで、児童の興味・関心を高めることができ、学習内容の理解につながった。
- ・タブレットを活用し子供たちの考えを共有することができたので、学級全体での理解を深めることができた。
- ・デジタル教科書を利用したことで、写真からだけでなく動画からも学ぶことができた。教科書にある資料の実際の映像を見たり、インタビューでの話を聞いたりすることで、より深く教材を学び、そこから考えることができた。

#### (2) 課題

- ・全体的に社会科に対する興味・関心をさらに高める必要がある。
- ・地図記号や地図帳の基本的な使い方、都道府県の位置など定着を図っていく必要がある。
- ・記述問題で、問題に対する自分の考えや選択した理由を説明する力を伸ばすことに課題がある。知識として身に付いていることを、問題の解答に合わせて記述する練習を行っていく必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値に対して☺	/	/
第5学年	目標値に対して▼	目標値に対して☺ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・方位や地図記号など、基本的な知識の定着と、問題に対して文章で解答する力を身に付けていく必要がある。</li> <li>・交番や消防署など安全な生活に必要な施設の役割について、より理解していく必要がある。</li> <li>・複数の資料から分かることを正しく読み取り、整理してまとめる活動が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき与えられた条件から読み取る力が弱い。問題文を読んで、分かったことに対して、自分の考えを表現する活動を授業に取り入れていく必要がある。</li> <li>・資料から必要なことを読み取る力が弱い。年表から判断する活動を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に対する事柄を自ら調べるなど、さらに学びに向かう姿勢を育てる必要がある。地域にある身近な教材を授業で扱うなど、意欲的に活動できるような工夫が必要である。</li> <li>・自分の考えを書かせたり発表させたりするなど、タブレットも用いて問題に対して関心をもてるような授業展開をする必要がある。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な用語、都道府県や国の名前などと地域や地方の特色などを合わせて覚えるようにし、基本的な知識を定着させる必要がある。</li> <li>複数の資料を関連付けて、正しく情報を読み取る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの考えを文章で表現することに課題がある。そのため、自分の考えを書かせたり、お互いに伝えあったりする活動が必要である。</li> <li>複数の資料を関連付けて考察したり、資料から必要なことを読み取った内容を表現したりすることが弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に対する興味・関心を高める必要がある。ゲストティーチャーや体験的・疑似体験的な活動を積極的に取り入れた授業の工夫が必要である。</li> <li>タブレットを使って問題に取り組む時間を作るなど、取り組みやすい活動を増やす必要がある。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生は地図記号、地図帳の基本的な使い方をしっかり教える。定期的に定着を確認していく。</li> <li>4年生は47都道府県の名称と位置を理解する。都道府県名も漢字（国語科担当）で書けるように教える。地図を積極的に活用し、八方位を含めた見方の活動を増やしていく。</li> <li>算数の棒グラフや折れ線グラフの学習と関連させて、資料やグラフから読み取る力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間の授業の最後5分間は、学習のまとめを自分の力で書けるような活動を取り入れる。</li> <li>単元を通してペア学習やグループ学習で、お互いの考えを伝え合う活動を積極的に取り入れる。タブレットも活用し、考えを共有しやすくしていく。</li> <li>カルタや新聞などにまとめる時も、モデルを必ず教師から示してまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科の興味・関心を高めるために、身近な教材を授業の中に取り入れていく。</li> <li>社会科見学だけでなく、近隣の施設や工場、スーパーなどにも見学に行き、体験的な活動をたくさん取り入れていく。</li> <li>地図記号や都道府県のクイズ、ミニテストなどを取り入れ、楽しく興味をもてるような授業の工夫をする。</li> <li>日常生活から、学習に関連する問題を取り上げて使うようにする。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生は都道府県名・世界の国名と国旗・世界の中の日本の位置など、6年生は歴史上の人物についても定着できるように、プリントなどを使って定期的に復習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間、学習のまとめを自分の力で書く活動を取り入れる。その際、キーワードや根拠を明らかにして自分の考えを書くようにする。また、どのような問題点があり、どのような取り組みができるかなどを考えさせてまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習やゲストティーチャーを招いて行う授業を取り入れていく。</li> <li>世界の国や歴史上の人物についてのクイズやミニテストを取り入れ、楽しく覚えてより興味をもてるような授業の工夫をする。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で大切な言葉を穴埋め問題にするなど、ワークシートやタブレットを活用して楽しく覚えられるようにする。</li> <li>・算数の学習との相互性を生かし、複数のグラフから関連性を捉え正しく読み取る練習をする。</li> <li>・複数の資料から社会的な関連や、どのような問題があるかなどを考える練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通してペア学習やグループ学習で、お互いの意見や考えを伝え合わせる活動を積極的に取り入れる。タブレットも活用し考えを共有していく。</li> <li>・新聞やポスターなどにまとめる際も、書くべき内容（テーマ）を必ず教師から示してまとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を授業に取り入れ映像による資料を多く提示し、興味関心を高めていく。</li> <li>・社会科見学などで工場見学をしていく。また、事前に関連する動画や具体物を用いて、関心を高める。</li> <li>・大田区内の古墳を実際に見に行くなど、できるだけ児童が身近に感じられるような工夫をする。</li> <li>・政治や国際社会の学習では、時事問題などを取り上げ、意見を出させるなどし、関心を高める。</li> </ul>
--	---	--